

インフルエンザ迅速検査キットの生産計画について

～ 臨床検査薬協会会員15社の生産計画（集計） ～

（各メーカーへの増産要請の状況）

- 迅速検査キット（製品）は、有効期間（6～24ヶ月）が短いことから、製造販売業者としては、複数シーズンに対応するよう造り置くことが困難な資材である。
- 厚生労働省としては、製造販売業者に対し、今シーズンの生産計画を策定し、引き続き、医療機関への安定供給確保に努めるよう要請。
（平成21年4月30日、5月27日及び9月8日 事務連絡を発出）
- 各製造販売業者等においては、流行状況に迅速に対応できるよう、前年実績を上回る生産及び出荷を行うこととしている。

（今シーズンの生産計画数）

臨床検査薬協会会員15社 16製品について

- 1 前年生産実績は、約1,300万検体分 を生産出荷したところ。
 - 2 平成21年8月～平成22年4月までの生産計画数は、約4,700万検体分 に増加しており、年内に約2,700万検体分を出荷し、平成22年1月～4月までに約2,000万検体分を生産出荷予定としている。
- ※ 各製造販売業者は、増産要請に対して、前年実績の約3.7倍（約3,400万検体分）を増産し、出荷する予定としている。

<参考>

平成21年10月生産数	約510万検体分
11月生産数	約650万検体分
12月生産予定数	約720万検体分
平成22年1月生産予定数	約670万検体分
2月生産予定数	約580万検体分
3月生産予定数	約480万検体分